

こども委員会のよりみちコラム

今回の担当：高橋 望

書いた日：2023年5月17日

こんにちは！新年度の始まりとともに桜が咲き、気づけば新緑の季節になりました。新社会人の皆さんはそろそろ生活に慣れてきたころでしょうか。ちょっと疲れたかな、というときの気分転換方法も見つけながら過ごしてください。今月は久々にパンブームが到来し、ひとりパン祭を開催中の高橋が今年度の意気込みを勝手に語ります。よろしければお付き合いください。

支援学校に行くと、主に児童・生徒さんの活動や参加の困りごとを学校の先生からお聞きします。学校で学習に取り組む様子や家での過ごし方、ご家族の意向などもふまえて、今取り組んでいることがどうすればやりやすくなるか、ステップアップするために何に取り組んだらいいかななどの相談を受けますが、この時に先生の考え方・捉え方がOT（自分）とは違っているんだなと感ずることがあります。お話を伺うことでこちらが知らない切り口があること、いろいろな見方があるということに改めて気づかされます。先生にも、同じように新たな発見や気づきがありますように、と思いながらいろいろなお話をしています。学校にOTが行き、先生と互いの職種の専門性を出し合いながら、子どもたちに何が必要か、どのような手段が有効かなどを探ることで、子どもたちの生活がより充実していくような支援ができたらいいなと思っています。

私の職場は身体障害領域で、主な対象は高齢者です。入社して間もない頃、「そこに落ちているごみを拾うような、誰の仕事でもないことを進んでやれるといいよね」といった話をされました。専門的に、機能的に、といったことに気を取られていると、見え方が部分的になっていることに気がつきます。専門的な知識や技術を身につけることはもちろんですが「もっとできることはないかな」という気持ちで患者さんや家族の声を聴きたいなと思いますし、同じように子どもたちのこともまるっと捉えられるように、先生をはじめ関わっている方々のことをより深く知っていききたいなと思っています。

写真は職場の洗面所ですが、職員さんが家に咲いている花を摘んで、飾ってくれています。花があることも、この場所を使う人のことを思うその方の気持ちも、嬉しいなあと思うのでした。それでは5月はこのへんで…季節の移り変わりの時期ですが、体調に気をつけてお過ごし下さい！

